

平成 18 年 1 月 10 日

各 位

会 社 名 株式会社サンマルクホールディングス
代 表 者 名 代表取締役社長 片 山 直 之
(コード番号 3395 東証第一部)
問 合 せ 先 常務取締役管理本部長 江 口 嘉 行
T E L (086) 246 0309

会社分割による業態別分社化等に関するお知らせ

当社グループは、平成 17 年 9 月 14 日に持株会社体制への移行方針を公表し、その第一段階として、平成 17 年 10 月 20 日に公表いたしましたとおり、平成 18 年 1 月 1 日に当社を完全親会社とし、株式会社サンマルク（平成 17 年 12 月 27 日、上場廃止）を完全子会社とする株式交換を行い持株会社体制に移行しました。なお、当社は、平成 18 年 1 月 1 日に東京証券取引所市場第一部に上場いたしております。

本日、当社及び株式会社サンマルクは、それぞれ取締役会を開催し、持株会社体制構築の第二段階として、持株会社となった当社に株式会社サンマルクの管理機能、店舗開発機能、業態・商品開発機能、教育機能等を承継する人的吸収分割を行うことを決議し、分割契約書を締結いたしました。

あわせて、株式会社サンマルクは、同取締役会において同社を分割会社として人的新設分割を行い業態別に分社化することを決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

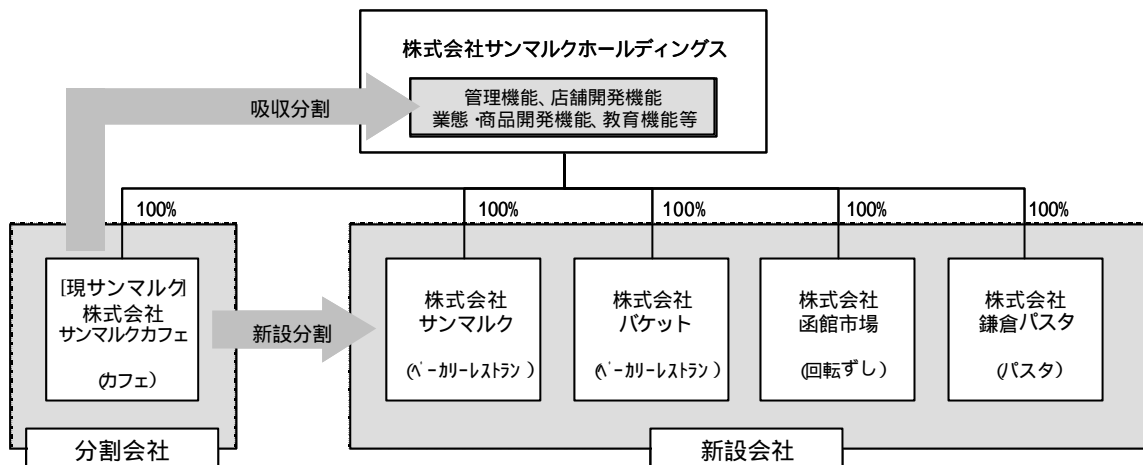
記

1. 会社分割の目的

持株会社体制移行のための第二段階として、平成 18 年 3 月 1 日（予定）を分割期日として当社の 100%子会社となった株式会社サンマルクを業態や機能に従って再編し、管理機能、店舗開発機能、業態・商品開発機能、教育機能等を持株会社となった当社に人的吸収分割するとともに、カフェ事業を除くベーカリーレストラン事業、回転ずし事業、パスタ事業を人的新設分割によって業態別に分社化するものです。

この会社分割の結果、業態別の事業部門を分社化するとともに全事業部門に共通するインフラ的機能は持株会社に集約するなど、責任と権限の所在をより明確化し、当社グループ内における最適な機能の分権と集権を実現することで今後のグループ全体の継続的な成長を図るものであります。

【 第二段階スキーム図 】



新設分割

株式会社サンマルク（現サンマルク）は、人的新設分割方式によりベーカリーレストラン事業を新設する株式会社サンマルク（フルコース料理主体）及び株式会社バケット（単品料理主体）に、回転ずし事業を株式会社函館市場に、パスタ事業を株式会社鎌倉パスタにそれぞれ承継します。現サンマルクは株式会社サンマルクカフェに商号変更のうえカフェ事業を行います。

吸収分割

持株会社である当社は、現サンマルクより、グループの管理機能、店舗開発機能、業態・商品開発機能、教育機能等に移管・集約するため当該事業を人的吸収分割方式により承継いたします。

2. 新設分割及び吸収分割の概要

(1) 分割の日程

- 平成 18 年 1 月 10 日 現サンマルク 分割計画書作成に関する取締役会
- 平成 18 年 1 月 10 日 当社及び現サンマルク 分割契約書の締結に関する取締役会
- 平成 18 年 1 月 10 日 分割契約書の締結
- 平成 18 年 1 月 27 日（予定）現サンマルク 分割計画書及び分割契約書の承認に関する臨時株主総会
- 平成 18 年 3 月 1 日（予定）分割期日
- 平成 18 年 3 月 1 日（予定）分割登記

（注）吸収分割は、商法第 374 条ノ 23 第 1 項に規定する簡易吸収分割であり、承継会社である株式会社サンマルクホールディングスにおいては、会社分割に関する株主総会の承認を得ることなく行うものであります。

(2) 分割方式

1. 分割方式

現サンマルクを分割会社として、新設する株式会社サンマルク、株式会社バケット、株式会社函館市場及び株式会社鎌倉パスタを承継会社とする人的新設分割並びに当社を承継会社とする人的吸収分割を行うものです。

2. 当該分割方式を採用した理由

第二段階スキーム図に示した持株会社体制に移行するためであります。

(3) 株式の割当

人的新設分割に際して、新設会社4社はそれぞれ普通株式2,000株を発行し、そのすべてを当社に割り当てます。人的吸収分割に際して、当社は、現サンマルクの発行済株式のすべてを所有しているため、新株の発行を行いません。

(4) 分割交付金

各分割に際して分割交付金の支払いは行いません。

(5) 当社及び新設会社が現サンマルクから承継する権利義務

平成17年9月30日現在の現サンマルクの貸借対照表その他同日の計算を基礎とし、これに分割期日に至るまでの増減を加除した分割計画書及び分割契約書に定める資産、負債、契約上の地位及びこれらに付随する権利義務を承継します。

(6) 債務履行の見込み

各社は、資産の額が負債の額を上回ると予測されること、また、収益状況においても負担すべき債務の履行に支障を及ぼす事態が予測されていないことから、債務の履行の見込みに問題はないと判断しております。

3. 分割当事会社の概要

(1) 分割前の当社及び現サンマルクの概況

記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

(1) 商号	株式会社サンマルクホールディングス (吸収分割における承継会社) (平成18年1月1日現在)	株式会社サンマルク [現サンマルク] (分割会社) (平成17年9月30日現在)
(2) 事業内容	統括管理機能、IR機能を有する 持株会社	レストラン及びベーカリーショップ等の経営 並びにフランチャイズ・チェーンシステムによる レストラン及びベーカリーショップ等の経営
(3) 設立年月日	平成3年7月19日	平成元年3月8日
(4) 本店所在地	岡山県岡山市平田173番地104	岡山県岡山市平田173番地104
(5) 代表者	代表取締役社長 片山直之	代表取締役社長 片山直之
(6) 資本金	500百万円	1,731百万円
(7) 発行済株式総数	11,388,685株	11,388,685株

(8) 株主資本	14,559百万円(概算)(注1)	14,982百万円
(9) 総資産	14,565百万円(概算)(注1)	17,849百万円
(10) 決算期	3月末	3月末
(11) 従業員数	8人	190人[1,244人](注2)
(12) 主要取引先	該当ありません。	伊藤忠商事株式会社
(13) 大株主及び持株比率	(注3)	片山直之 14.18% 株式会社デコール(注4) 12.68% 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 11.93% 日本スタートラスト信託銀行株式会社 9.88% 株式会社ルオ 4.54%
(14) 主要取引銀行	中国銀行、阿波銀行、三菱東京UFJ銀行	中国銀行、阿波銀行、UFJ銀行(現三菱東京UFJ銀行)
(15) 当事会社の関係	資本関係	株式会社サンマルクホールディングスは、現サンマルクの全株式を所有しております。(注5)
	人的関係	株式会社サンマルクホールディングスの役員は、現サンマルクの役員を兼任しております。
	取引関係	該当事項はありません。

(注1) 株式交換後の平成18年1月1日現在の概算額であります。

(注2) 従業員数は就業人員であり、パートタイマーは年間の平均人員(1日8時間換算による年間平均人員)を[]外数で記載しております。

(注3) 平成18年1月1日の株式交換により、平成18年1月1日における当社株主は、現サンマルクにおける平成17年12月31日の最終の株主名簿の株主を引き継いでおります。ただし、株式会社デコールの持株比率は、片山直之の持株比率として合算されております。

(注4) 株式会社デコールは、平成17年11月24日に株式会社サンマルクホールディングスへ商号変更しております。

(注5) 平成18年1月1日の株式交換により、現サンマルクは、当社が100%出資する子会社となりました。

(16) 最近3決算期間の業績

記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

	株式会社サンマルクホールディングス [株式会社デコール] (吸収分割における承継会社)			株式会社サンマルク [現サンマルク] (分割会社)		
決算期(百万円)	15年6月期	16年6月期	17年6月期	15年3月期	16年3月期	17年3月期
売上高(百万円)	39	48	54	12,699	14,014	17,494
営業利益(百万円)	20	29	34	2,812	3,318	3,972
経常利益(百万円)	21	34	36	2,892	3,368	4,040
当期純利益(百万円)	58	41	9	1,615	1,749	2,185
1株当たり当期純利益(円)	57,274.10	39,072.20	1,052.29	152.23	160.76	191.27
1株当たり配当金(円)			135,000	28.00	32.00	38.00
1株当たり株主資本(円)	159,503.61	198,575.81	197,523.52	901.92	1,160.20	1,329.42

(注) 株式会社サンマルクホールディングスの業績は、平成18年1月1日の株式交換により持株会社となる前の株式会社デコールのものであります。なお、「1株当たり当期純利益」「1株当たり配当金」「1株当たり株主資本」は平成17年9月30日に行いました株式分割前の発行済株式数(960株)で算出しております。

(2) 承継する事業部門の内容

株式会社サンマルクホールディングスは、前述のとおり現サンマルクの管理機能、店舗開発機能、業態・商品開発機能、教育機能等を承継します。各新設会社が承継する事業については、後記「(3) 分割後の各社の概要」の事業内容をご参照ください。

承継する事業部門の平成17年3月期における経営成績(連結)

(単位:百万円)

	株式会社 サンマルクホールディングス	株式会社 サンマルク	株式会社 バケット	株式会社 函館市場	株式会社 鎌倉パスタ
売上高	3,278	3,079	2,042	2,611	107
売上総利益	2,075	2,446	1,449	1,703	84
営業利益	927	1,361	138	548	22
経常利益	944	1,313	139	526	22

(注) 1. 承継する事業部門の名称につきましては、会社分割により事業を承継する会社名を記載しております。

2. 株式会社サンマルクホールディングスが承継する事業の主な売上高につきましては、フランチャイジー向等の食材、資材売上並びにサンマルクグループチェーン指定仕入先に対する情報管理システムの使用、商品開発及び製造元等への業務指導の対価としての売上等であります。

譲渡資産、負債の項目及び金額（平成 18 年 3 月 1 日の帳簿価額（概算））

（単位：百万円）

	株式会社 サンマルクホールディングス	株式会社 サンマルク	株式会社 パケット	株式会社 函館市場	株式会社 鎌倉パスタ
流動資産	4,399	130	125	131	115
固定資産	1,574	953	1,450	821	1,003
資産合計	5,974	1,084	1,576	952	1,118
流動負債	53	18	5	13	4
固定負債	46	23	1	29	0
負債合計	100	42	6	43	4

（3）分割後の各社の概要

（1）商号	株式会社サンマルクホールディングス (吸収分割における承継会社)	株式会社サンマルクカフェ [現サンマルク] (分割会社)
（2）事業内容	飲食店を営む事業会社の株式を 所有することによる当該会社の 支配、管理	サンマルクカフェ事業、パン工 房サンマルク事業及びあっぱれ 讃岐事業
（3）設立年月日	平成3年7月19日	平成元年3月8日
（4）本店所在地	岡山県岡山市平田173番地104	岡山県岡山市平田173番地104
（5）取締役 及び監査役	代表取締役社長 片山直之 常務取締役 江口嘉行 常務取締役 藤井律子 常務取締役 尾崎人士 取締役 尾崎一郎 監査役 松浦良行 監査役 石井辰彦 監査役 福原一義	代表取締役社長 三宅洋二郎(新任) 取締役 下山能生(新任) 取締役 丸山伸司(新任) 監査役 松浦良行 監査役 石井辰彦 監査役 福原一義
（6）資本金	1,731百万円（注1）	100百万円（注2）
（7）発行済株式総数	11,388,685株	2,000株（注2）
（8）決算期	3月末	3月末
（9）従業員数	50人[30人]（注3）	75人[1,000人]（注3）

(1) 商号	株式会社サンマルク (新設会社)	株式会社バケット (新設会社)
(2) 事業内容	ベーカリーレストラン・サンマルク事業及び和食と甘味処みもぞ事業	ベーカリーレストラン・バケット事業及びサンマルクチャイナ事業
(3) 設立年月日	平成 18 年 3 月 1 日	平成 18 年 3 月 1 日
(4) 本店所在地	岡山県岡山市平田 173 番地 104	岡山県岡山市平田 173 番地 104
(5) 取締役及び監査役	代表取締役社長 難波忠博(新任) 取締役 藤井洋孝(新任) 取締役 伊東功雄(新任) 監査役 尾崎人士(新任) 監査役 網嶋耕二(新任)	代表取締役社長 谷口慎治(新任) 取締役 渡辺洋一(新任) 取締役 末川起己(新任) 監査役 藤井律子(新任) 監査役 網嶋耕二(新任)
(6) 資本金	100 百万円	100 百万円
(7) 発行済株式総数	2,000 株	2,000 株
(8) 決算期	3 月末	3 月末
(9) 従業員数	35 人[200 人] (注 3)	20 人[270 人] (注 3)

(1) 商号	株式会社函館市場 (新設会社)	株式会社鎌倉パスタ (新設会社)
(2) 事業内容	すし処函館市場事業	生麺工房鎌倉パスタ事業
(3) 設立年月日	平成 18 年 3 月 1 日	平成 18 年 3 月 1 日
(4) 本店所在地	岡山県岡山市平田 173 番地 104	岡山県岡山市平田 173 番地 104
(5) 取締役及び監査役	代表取締役社長 田淵昌人(新任) 取締役 小中直樹(新任) 取締役 守屋琢二(新任) 監査役 尾崎人士(新任) 監査役 網嶋耕二(新任)	代表取締役社長 西本峰希(新任) 取締役 遠藤康史(新任) 取締役 兼田 修(新任) 監査役 尾崎人士(新任) 監査役 網嶋耕二(新任)
(6) 資本金	100 百万円	100 百万円
(7) 発行済株式総数	2,000 株	2,000 株
(8) 決算期	3 月末	3 月末
(9) 従業員数	30 人[260 人] (注 3)	10 人[130 人] (注 3)

(注 1) 会社分割により当社の資本金は 1,231 百万円増加し、現サンマルクと同額の 1,731 百万円となります。

(注 2) 会社分割により、現サンマルクの資本金は 1,631 百万円減少し、100 百万円となります。併せて、株式併合を行い、発行済株式総数は 2,000 株となる予定です。

(注 3) 従業員数は予定就業人員であり、パートタイマーは年間の平均予定人員(1日 8 時間

換算による年間平均予定人員)を [] 外数で記載しております。

(注) 1. 事業子会社の取締役及び監査役欄の 印は、株式会社サンマルクホールディングス役員の兼任または従業員の兼務を示しております。

2. 株式会社サンマルクホールディングスの会社分割後の総資産額は、20,540 百万円 (概算) を予定しております。

4. 会社分割後の業績予想

平成 18 年 3 月 1 日を分割期日とする会社分割に伴い、業態や機能に従って企業グループの再編を行うため、平成 18 年 1 月 4 日に公表した業績予想と比較し、単体の業績予想を修正しております。なお、連結業績予想については、変更はありません。

(1) 連結業績予想 (平成 17 年 4 月 1 日 ~ 平成 18 年 3 月 31 日)

記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

	売上高	経常利益	当期純利益
通 期	24,042 <small>百万円</small>	4,816 <small>百万円</small>	2,578 <small>百万円</small>

(注) 1. 株式会社サンマルクホールディングスの連結子会社は、平成 18 年 3 月 1 日時点では、株式会社サンマルクカフェ (平成 18 年 3 月 1 日に現サンマルクから商号変更予定。)、平成 18 年 3 月 1 日に現サンマルクから新設分割する株式会社サンマルク、株式会社バケット、株式会社函館市場及び株式会社鎌倉パスタの計 5 社であります。

2. 連結財務諸表は、現サンマルクが株式会社サンマルクホールディングスを逆取得したものとして作成いたします。従いまして、現サンマルクは平成 17 年 4 月 1 日から平成 18 年 3 月 31 日までの間、株式会社サンマルクホールディングスは平成 18 年 1 月 1 日から平成 18 年 3 月 31 日までの間、また新設分割の株式会社サンマルク、株式会社バケット、株式会社函館市場及び株式会社鎌倉パスタは新設分割後の業績予想数値をそれぞれ取り込んでおります。なお、現サンマルクの連結子会社であった株式会社プライム・タイム (2 月決算) は平成 17 年 12 月 1 日に現サンマルクに吸収合併されましたが、同社の平成 17 年 3 月 1 日から平成 17 年 11 月 30 日までの間の業績数値についても上記連結業績予想数値に取り込んでおります。

3. 事業部門別の業績予想につきましては、F C 事業部 (サンマルク) は、売上高 49 億 2 百万円、営業利益 20 億 37 百万円、F C 事業部 (函館市場) は、売上高 35 億 39 百万円、営業利益 11 億 85 百万円、C A F E 事業部は、売上高 114 億 38 百万円、営業利益 19 億 96 百万円、D O R 事業部は、売上高 41 億 61 百万円、営業利益 6 億 86 百万円を見込んでおります。なお、事業部門別の業績予想は、現サンマルクの事業部門をベースにして算出しております。

(2) 単体業績予想(平成17年7月1日～平成18年3月31日)

平成18年1月4日に公表いたしました平成18年3月期(平成17年7月1日～平成18年3月31日)の業績予想を下記のとおり修正いたします。

当期の業績予想数値の修正(平成17年7月1日～平成18年3月31日)

記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	27 百万円	21 百万円	34 百万円
今回修正予想(B)	457	73	40
増減額(B-A)	429	95	75
増減率(%)	-	-	-

(注)株式会社サンマルクホールディングスは、平成17年11月24日開催の臨時株主総会で決算期を6月30日から3月31日に変更いたしました。

修正の理由

売上高は現サンマルクからの配当金を見込んでおりましたが、平成18年3月1日の会社分割に伴い、これに加えてインフラ機能を集約した吸収分割後の事業会社運営収入、フランチャイジー向等売上高等を見込んでおります。経常利益(販売費及び一般管理費、営業外費用)には平成18年1月1日実施の現サンマルクとの株式交換に係る諸費用等を見込んでおりましたが、会社分割に伴い、これに加えて吸収分割後の事業運営諸費用等を所要額見込んでおります。なお、当社は3月決算のため、当該会社分割による影響は1ヶ月分のみであります。

また、当該会社分割はグループ内の再編であり、連結では業績予想に変更はありません。

(3) 平成18年3月期期末配当(予想)

1株当たり 19円

配当財源につきましては、平成18年3月1日の現サンマルクからの吸収分割及び吸収分割後の期間損益等により確保する予定です。なお、現サンマルクの平成18年3月期中間配当につきましては、1株当たり19円の間配当を実施しております。

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、予想数値と異なる場合があります。

以上